

# ひかりとまちのコラボレーション これからの夜間景観を創造する

## ◆主旨

本シンポジウムは、環境心理生理分野のなかでも、「ひかり・照明」に関する研究の新しい方向性を展望する。中でも今回は、景観にまつわる「ひかり」の在り様と在り方を考える。

街や建物の景観は、昼間はそれを構成する物が昼光に照らされることによって人に知覚・認識されるが、夜間は人工照明によって照らされた物だけでなく人工照明の光そのものもその景観を構成することになる。人工照明の「ひかり」の機能と、まちの夜間景観としての役割を両立させるには、切り離すことのできない「ひかり」と景観について、その在り様と在り方を改めて考え議論しておく必要があるだろう。

## ◆プログラム

主旨説明	司会 原直也（関西大学）
夜間景観の事例の紹介	パネラーより
昼間の景観の構成	西名大作（広島大学）
夜間景観の認知構造	土田義郎（金沢工業大学）
景観計画と照明の役割	横江彩（中部大学）
街路照明の基準と街らしさ	岩田三千子（摂南大学）
まちづくりとしての夜間景観	小林茂雄（東京都市大学）
総合討論	

主催—日本建築学会 環境心理生理運営委員会 感覚・知覚心理生理小委員会

日時—2017年2月24日（金） 13時30分～16時50分

会場—関西大学千里山キャンパス第4学舎4号館4101教室

参加費—会員2,000円、会員外3,000円、学生1,000円（資料代含む）

定員—75名（申込先着順）

申込方法—参加者氏名、所属、会員種別を明記の上、メールにてお申し込みください。

[nhara@kansai-u.ac.jp](mailto:nhara@kansai-u.ac.jp)

問合せ—日本建築学会事務局 事業グループ 中村

TEL : 03-3456-2057 E-mail : nakamura\*/aij.or.jp /\*/を@に変えてください。